

参考値

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/4 >

(データ集約 : 12/5)

採取場所	1号機原子炉建屋上部 (カバー排気系フィルター入口)		1号機原子炉建屋上部 (カバー排気系フィルター出口)		1号機原子炉建屋上部 (カバー北西コーナー)		1号機原子炉建屋上部 (カバー北東コーナー)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成23年12月2日 4時11分～5時11分		平成23年12月2日 9時03分～10時03分		平成23年12月2日 8時16分～9時16分		平成23年12月2日 7時15分～8時15分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	2.2E-05	0.01	ND	-	1.8E-05	0.01	1.6E-05	0.01	2E-03
Cs-137 (約30年)	3.4E-05	0.01	ND	-	2.4E-05	0.01	2.4E-05	0.01	3E-03

. E- とは、 . × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

I-131が約1E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-6Bq/cm³、Cs-137が約2E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

本測定は、粒子状の空气中放射性物質の核種分析を行った結果である。

参考値

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/4 >

(データ集約：12/5)

採取場所	1号機原子炉建屋上部 (カバー南西コーナー)		1号機原子炉建屋上部 (原子炉建屋オペフロ面開口部)		1号機原子炉建屋上部 (使用済み燃料プール天井部)				炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成23年12月2日 9時17分～10時17分	平成23年12月2日 6時14分～7時14分	平成23年12月2日 5時12分～6時12分	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-			1E-03
Cs-134 (約2年)	1.5E-05	0.01	2.1E-05	0.01	3.0E-05	0.02			2E-03
Cs-137 (約30年)	1.7E-05	0.01	3.0E-05	0.01	3.8E-05	0.01			3E-03

E- とは、 × 10⁻ と同じ意味である。
 その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

I-131が約1E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

本測定は、粒子状の空气中放射性物質の核種分析を行った結果である。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 3/4 >

参考値

(データ集約 : 12/5)

採取場所	1号機原子炉建屋上部 (原子炉建屋大物搬入口)						炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成23年12月2日 13時00分 ~ 14時00分					
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-					1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-					2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-					3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

1E- とは、1.0 × 10⁻¹ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約6E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約3E-6Bq/cm³、Cs-134が約9E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 4/4 >

参考値

(データ集約 : 12/5)

採取場所	2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル中央西向)		2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル中央北向)		2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル下部)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
試料採取日時刻	平成23年12月2日 12時00分 ~ 14時00分		平成23年12月2日 12時00分 ~ 14時00分		平成23年12月2日 12時00分 ~ 14時00分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	5.9E-05	0.03	4.7E-05	0.02	3.0E-05	0.02	2E-03
Cs-137 (約30年)	6.6E-05	0.02	5.8E-05	0.02	3.4E-05	0.01	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、 . × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。